



マモノに襲われる
危険はありますが
私たちにお任せください

はい
頼りにしていま



ここらは道が悪いので
ゆっくり馬車を進めるようす
しかし
今日中には屋敷に着きますので

はい
わかりました



お嬢様

はい



お嬢様
どうされましたっ!!
戻ってください!!



おいッ
馬車を止めろッ

はっ
はい!!

いいから早くっ!!



えっ!!
いやしかし

アンジエ
馬車を止めてッ!!

お嬢様っ!!
危険ですっ
戻ってくださいっ!!

アンジエ
どうしましょう

魔物…
ケガをしているようです

ええ
まだ子供のようです…

せめて
苦しめぬよう
今首を落としてあげましょう

本気ですの…?!

えっ…
そのっ…

スッ

この子はわたくしが
屋敷で保護しますっ!!

なっ!!
ダメです!!
危険すぎます!

アンジェ!!
早く回復魔法をっ

なりません!!

いくらお嬢様の
頼みと言えど
聞くことは出来ません

私はお嬢様を
お守りすることが使命です

わたくしは目の前で
苦しんでいるものを
見過ごすことは出来ません...

アンジェの時も
皆が反対しました...

...
...
...
わかり...ました

さすがアンジェですわ

しかしっ...
条件があります

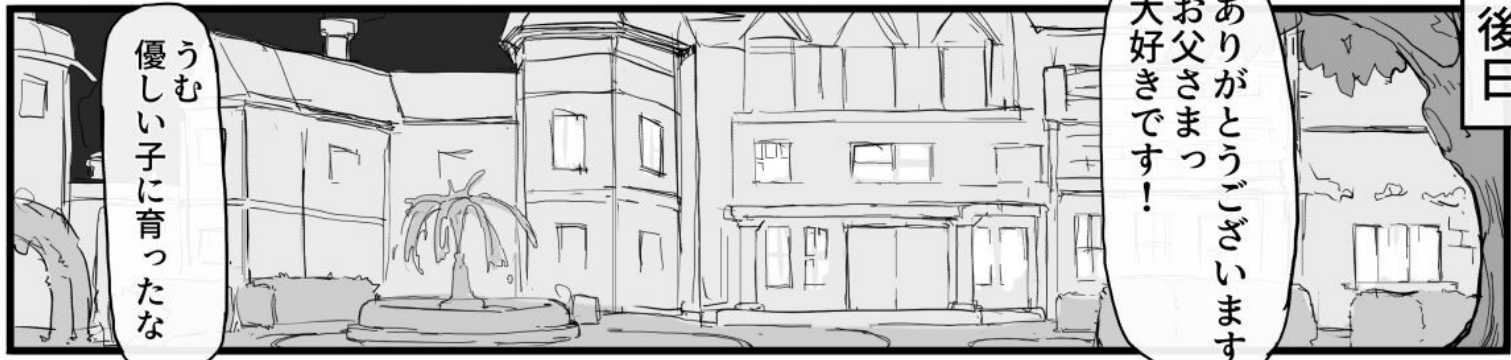
屋敷までは後ろの馬車で運びます
そして屋敷でこの魔物の攻撃性
危険性を調べます

はい
きつと優しい子です

そして
領主様にお伺いを
立てさせていただきます

ありがとうございます
お父さまっ
大好きです！

うむ
優しい子に育ったな



さすがお父さま
快諾してくださいましたわっ

ウキッ
ウキッ

うーちゃんもケガが治って
良かったですわね

いい？
うーちゃん
屋敷ではいい子にして過ごすのよ？

ウキッ

あっ
そうでした
お父さまから
受け取った首輪を付けませんと



本当はこんな首輪なんて
付けたくないのですが
がまんしてくださいね

ウキイ



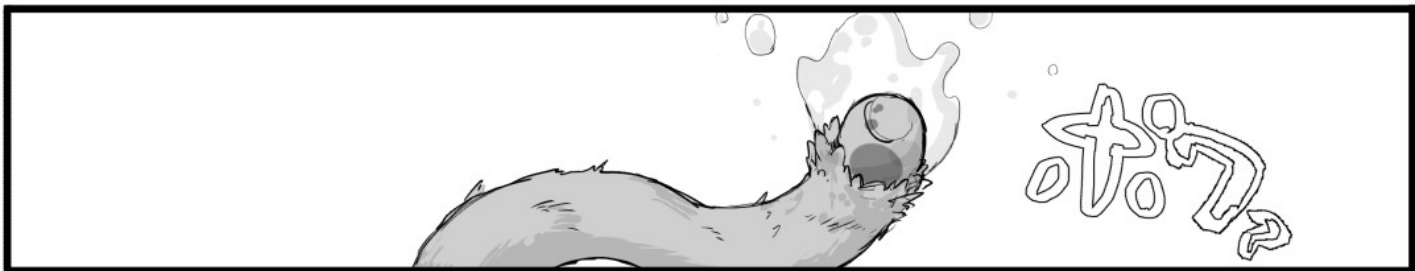


フフツ
くすぐったい
ですわあ



ウキーッ

まあ
甘えん坊さん



おのろ



わたくし
なんだか
急に
ねむく...
な



フフツ
遊んであげたい
のですが
今日はもう遅いので
明日にしまし
ようねー







